

# 令和3年度 部活動において目指すもの

小松市立御幸中学校

## 1. 部活動を通じて身につけてほしい力

「あ」＝（競技を）愛する心、（最後まで）あきらめない心

「か」＝（周囲の人々への）感謝の心

「さ」＝（もっと上手になりたいという）さらなる向上心

「た」＝（辛いことにも）耐える心

「な」＝仲間を大切に思う心

## 2. 各部の活動方針・活動目標

|           |                                                                                                                                                                   |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 軟式野球部     | ・生徒信条「あすをはじく」を目標とする。                                                                                                                                              |
| 男子ハンドボール部 | ・礼儀と感謝の心を大切にし、協力することの中で感じる喜びや苦難を通じて、困難にもめげないたくましさを育てる。                                                                                                            |
| 女子ハンドボール部 | ・集団スポーツを通じて、困難に負けず、ひたむきに努力し続ける生徒の育成。                                                                                                                              |
| 女子ソフトテニス部 | ・部活動を通して体力の増進、身体的成長を目指す。<br>・一つの目標に向けて活動する中で部員同士のつながりを大切にし、精神的成長を目指す。                                                                                             |
| 女子バレーボール部 | ・「礼儀正しく、素直な心で、誇りを持って、感謝の気持ちを忘れずに」                                                                                                                                 |
| 剣道部       | ・生徒の自主性・自発性に基づき、より高い水準の技能や記録に挑戦する中で、競技の楽しさや喜びを味わい、学校生活に豊かさをもたらせるようにする。                                                                                            |
| 卓球部       | ・大きな声であいさつができる、そして仲間を大切にする。<br>・卓球の面白さに気づき、互いに切磋琢磨しながら技術向上を目指すとともに、礼儀正しい行動ができる力を育成する。                                                                             |
| 吹奏楽部      | ・礼儀、挨拶、協調性を身に付け、全員で音楽を創りあげる。                                                                                                                                      |
| 美術部       | ・絵画における基礎基本を鍛え、ものを見る力や集中力を養う。<br>・学年を交えた共同制作や文化祭の展示作品の制作を通して、互いによいところを認め尊重しあい、助け合って作品を完成させる喜びを味わう。<br>・自由課題や選択課題を通して、自分にあった素材選びや表現をし、自分で問題解決をし、完成までの見通しを立てた制作をする。 |